

縄文ワーク (中級編)

縄文土器の特徴別に並べてみましょう。右の4つから選んでください。



縄文時代早期にみられる、底が尖った土器。

(**ウ**)



縄文時代前期～中期にみられる、細長い土器。

(**ア**)



縄文時代後期以降にみられる、注ぎ口のある土器。

(**エ**)

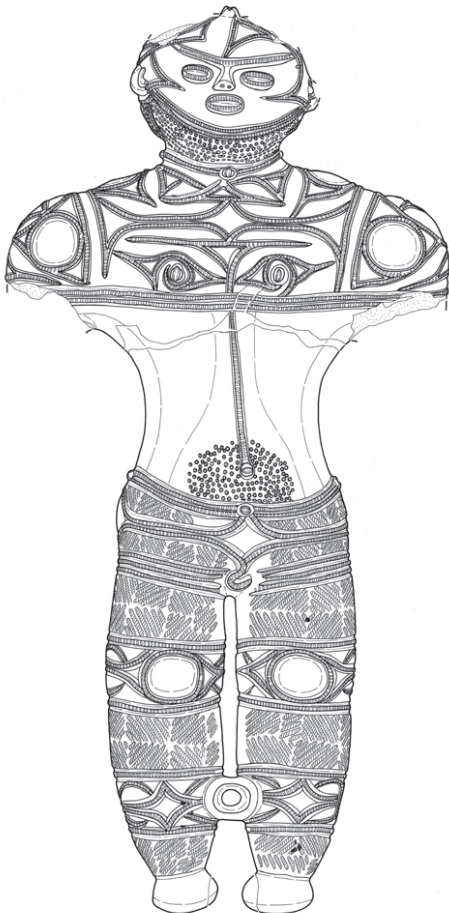


縄文時代晩期にみられる、精巧につくられた土器。

(**イ**)

ア. 円筒土器
イ. 亀ヶ岡式土器
ウ. 尖底土器
エ. 注口土器

北海道でただ一つの国宝「中空土偶」について、プロフィールを書いてみましょう。



発見された年月日

(**1975年8月24日**)

農作業中に地元の主婦が畑で偶然発見しました。

発見された遺跡名

(**著保内野遺跡**)

調査の結果、縄文時代後期の群集墓の遺跡であることがわかりました。

土偶の作られた年代

(**約 3500 年前**)

土偶の身長

(**41.5 cm**)

中が空洞の土偶としては国内最大級です。

国宝に指定された年月日

(**2007年6月8日**)